

# 作業療法の本質と課題

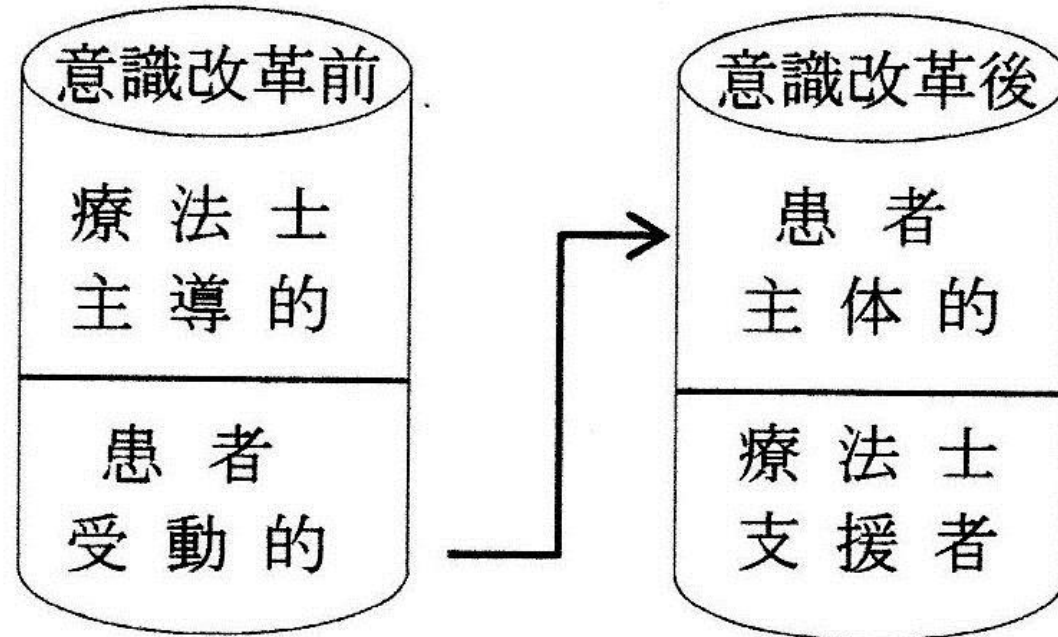
～リハを受ける当事者の視点から～



山添 清

# リハビリテーションの方向性

近年、リハビリテーションに限らず医療において  
**患者が主体的で医療者は支援者**  
というトレンドになっている



# 作業療法の本質とは？

作業療法の本質は患者の『生きる』を支援するといわれている  
「生きる」を支援するためには患者を知らなければならない

患者が過ごした  
社会的時代背景

社会的経歴  
生活様態

患者の個性  
と人生

患者の意をくんだ作業テーマの選択 + 作業の共通体験

機能喪失から希望を生み出す心の再生

作業療法の本質

# 臨床における作業療法の基本的留意点

## 療法士は患者の支援者である

- ◆ コミュニケーションを通して患者の個性と人生を学び取る
- ◆ 希望と必要を勘案して作業テーマを決める
- ◆ 作業テーマが決まったらそのテーマに共感し、作業の『共通体験』を通して問題点の把握やその対応策を一緒に講じていく

## 患者の意識改革と主体性獲得

- ◆ 療法士に丸投げするのではなく自らの障害を理解し向き合う
- ◆ 発症前の状態に執着せず、対処可能な方法を見出す
- ◆ 主体性や生活の質の向上を図る



療法士による指導・アドバイス

# 作業テーマを決める際の留意点

---

- 患者が要望かつ必要とする日常生活行為はなにかを聞き取り通り一遍の作業を強要しない



- 患者の意にそぐわない作業は患者の主体的回復意欲との共通性がない



- 作業テーマが決定した際はそのテーマに共感し、作業の『共通体験』を通して、問題点の把握やその対応策を一緒に講ずる必要がある



- 「共通体験」を通して得られた問題点や解決策が事例として蓄積される

# 「共通体験」が未来を拓く

---

「共通体験」によって得られたノウハウや達成感が

主体的な作業への大きな原動力となって日常生活のなかで応用されて

さらなる対処可能な方法を見出し、生活の質の向上へと繋がる

この繰り返しの主体的作業が人生の枠へと大きく進展していく

これによって発症前と後の人生が一つに繋がる

# 患者の教育と意識改革の啓蒙

